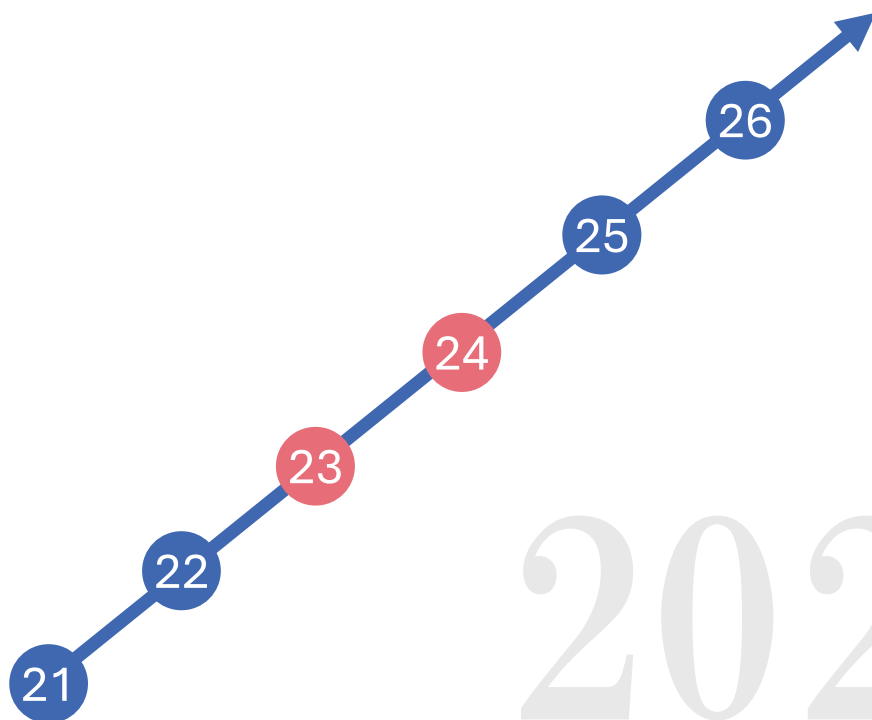




「あいち県民の日」・ 「あいちウィーク」等に関する 県民意識調査報告書

【概要版】



2025年3月

愛知県県民文化局県民生活部県民総務課

1. 調査目的

この調査は、県民の「あいち県民の日」・「あいちウィーク」等についての認知度・意識等を把握し、その結果を今後の施策へ反映させることを目的とする。

2. 調査方法

インターネットを使ったアンケート
インターネット調査会社の登録モニターのうち、条件に合致する対象者を無作為に抽出してアンケートを配信し、回答を集計したもの。

3. 調査日程

2025年1月24日（金）～1月30日（木）

4. 調査対象者

愛知県内に居住する18歳以上の県民

5. 回収数

回収数2,416人

18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
103	439	530	548	554	161	81	2,416

6. 調査項目

- ・「あいち県民の日」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「あいちウィーク」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「あいちウィーク」中のイベントや行事の認知度／参加状況
- ・「あいちウィーク」中の休日取得状況
- ・「あいちウィーク」中の余暇の過ごし方
- ・「県民の日学校ホリデー」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「県民の日学校ホリデー」の休日取得状況
- ・「県民の日学校ホリデー」の過ごし方
- ・愛知県に対する好感度・魅力について など

注：記載している構成比は、いずれも小数点第一位で四捨五入をして表記しているため、回答をひとつだけ選択する単一回答質問でも、合計が100%にならない場合があります。

認知度

「あいち県民の日」等の認知度はいずれも50%以上

「名称も大体の内容も知っていた」と「名称を聞いたことがある程度」を合わせた「あいち県民の日」等の認知度は、それぞれ50%を超えています。さらに、「県民の日学校ホリデー」対象年齢の子の有無別でみると、子どもを持つ方からの認知度は高い一方で、「あいちウィーク」については60代以上、「県民の日学校ホリデー」については50代以上の年代の高い方の認知がやや低い傾向となっています。

Q. あなたは、「あいち県民の日」/「あいちウィーク」/「県民の日学校ホリデー」を知っていましたか。

名称も大体の内容も知っていた(a)

名称を聞いたことがある程度(b)

まったく知らない

あいち県民の日	21.7%	45.9%	32.5%
あいちウィーク	16.3%	37.3%	46.4%
県民の日学校ホリデー	22.9%	29.3%	47.7%

【県民の日学校ホリデー対象の子
「あり」「なし」別認知度】

認知度全体 (a) + (b)	あり (570)	なし (1,846)
67.6%	87.0%	61.5%
53.6%	71.9%	47.9%
52.2%	79.3%	43.9%

※全体数値よりも+5%以上で赤文字、全体数値よりも-5%以上で青文字、+-10%以上でアミ掛け

【年代別認知度】		全体 (2,416)	10代 (103)	20代 (439)	30代 (530)	40代 (548)	50代 (554)	60代 (161)	70代以上 (81)
(サンプル数)									
あいち県民の日		67.5%	82.5%	62.6%	70.6%	68.6%	65.7%	65.2%	65.4%
あいちウィーク		53.6%	62.1%	52.9%	56.2%	56.9%	50.0%	45.9%	45.7%
県民の日学校ホリデー		52.2%	71.8%	50.4%	56.0%	57.9%	44.7%	46.6%	38.3%

※全体数値よりも+5%以上で赤文字、全体数値よりも-5%以上で青文字、+-10%以上でアミ掛け

認知媒体

半数以上がテレビのニュース・情報番組から認知

いずれの取組についても、半数以上の方が「テレビ（ニュース・情報番組）」で知ったと答えており、パブリシティの重要性がうかがえます。次いで「家族・友人・知人から」が多く、「県民の日学校ホリデー」については、「学校・幼稚園から」が2位となっています。さらに、「県民の日学校ホリデー」の対象のお子さんをお持ちの方は、どの取組も「学校・幼稚園から」情報を得たと答えた方の割合が倍以上増えています。

Q. あなたは、「あいち県民の日」/「あいちウィーク」/「県民の日学校ホリデー」を何で知りましたか。

(複数回答可)

							【県民の日学校ホリデー 対象の子を持つ方の回答】	
(サンプル数)	テレビ(ニュース・情報番組)	家族・知人・友人から	新聞	インターネットニュース	勤務先から	学校・幼稚園から	(サンプル数)	学校・幼稚園から
あいち県民の日(1,632)	59.3%	19.3%	15.4%	9.9%	8.8%	15.6%	(496)	35.9%
あいちウィーク(1,294)	58.6%	15.4%	14.5%	10.3%	8.6%	13.4%	(410)	31.7%
県民の日学校ホリデー(1,263)	55.2%	19.2%	13.6%	8.0%	9.4%	19.7%	(452)	40.3%

※1位：赤、2位：黄、3位：青

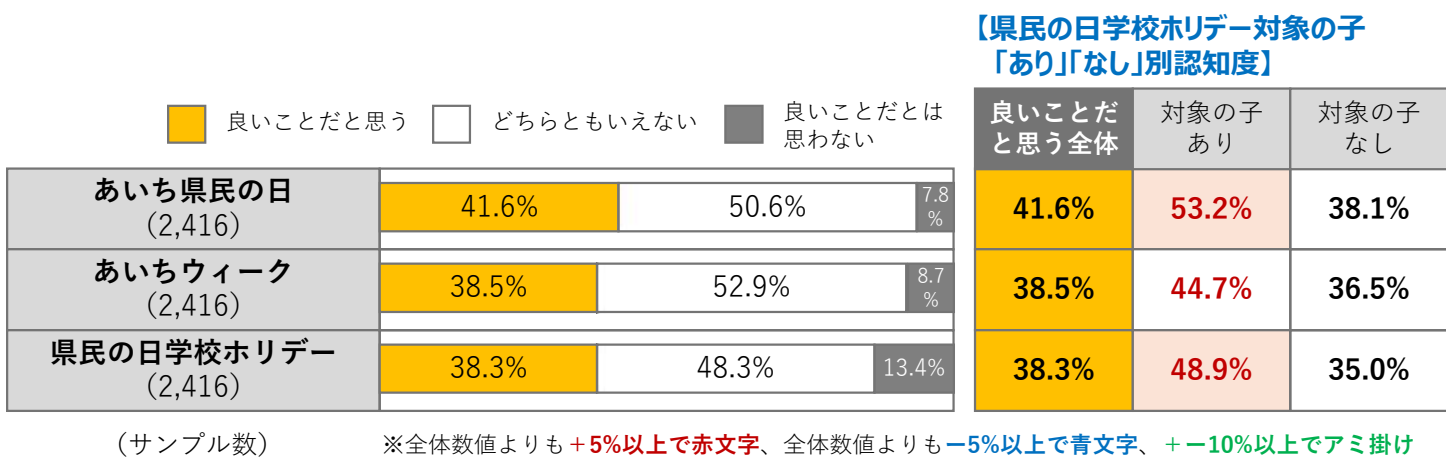
※全体数値よりも+5%以上で赤文字、全体数値よりも-5%以上で青文字、+-10%以上でアミ掛け

施策の評価

4 割近い人たちが「あいち県民の日」等の取組を評価

いずれの取組についても、4 割近い人たちが「良いことだと思う」と答え、「良いことだと思わない」と答えた方を大きく上回りました。また、「県民の日学校ホリデー」の対象年齢の子がいる方は、いない方に比べ「良いことだと思う」人の割合が高い傾向にあり、全体平均と比べても高い数値を示しました。

Q . あなたは、「あいち県民の日」の制定／県民の日を含む直前 1 週間を「あいちウィーク」とすること／「あいちウィーク」中の1日を「県民の日学校ホリデー（学校休業日）」とし、休み方改革を促す日本初の試みの導入についてどう思いますか。



休日の取得率

小学生の子を持つ方の休日取得率が高かった

「あいちウィーク」を知っており、仕事をお持ちの方のうち、「あいちウィーク」中に通常の休みに加えて休みを取った方は全体で14.1%。そのうち、小学生の子を持つ方が33.5%、中高生の子を持つ方が22.4%で、昨年と比較しても大きく伸びました。また、「県民の日学校ホリデー」を知っており、仕事を持ち、県民の日学校ホリデーの対象の子を持つ方のうち、ホリデーに合わせて休みを取った方は全体で39.7%、そのうち、小学生の子を持つ方で45.1%となり、中高生の子を持つ方よりも15ポイントほど高い数値となりました。

Q . あなたは、この「あいちウィーク」(11月21日～27日)中に、通常の休みに加えて、休みを取りましたか。／この「県民の日学校ホリデー」に合わせて、休みを取りましたか。

	あいちウィーク (※1)				県民の日学校ホリデー (※2)		
	全体 (986)	小学生の子 を持つ方 (194)	中高生の子 を持つ方 (165)	大学生の子 を持つ方 (59)	全体 (325) *小中の重複あり	小学生の子 を持つ方 (206)	中高生の子 を持つ方 (184)
休み取得率	14.1%	33.5%	22.4%	13.6%	39.7%	45.1%	31.0%
	「通常の休みに加えて、休みを取った」				「すべての子どもに合わせて取った」 + 「一部の子どもに合わせて取った」の合算値		

※全体数値よりも +5%以上で赤文字、全体数値よりも -5%以上で青文字、+-10%以上でアミ掛け

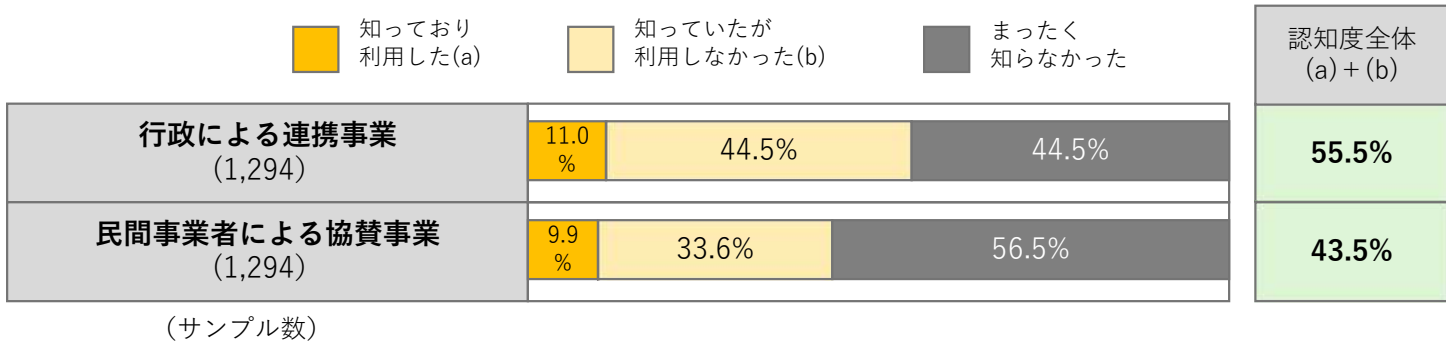
※1：「あいちウィーク」を知っており、仕事を持つ方が対象
※2：「県民の日学校ホリデー」を知っており、仕事を持ち、県民の日学校ホリデーの対象の子を持つ方が対象

連携（協賛）事業の認知と参加状況

認知率は約半数　しかし利用率は確実に上昇している

「あいちウィーク」を知っている方のうち、「行政による連携事業」を知っていた方が55.5%、「民間事業者による協賛事業」を知っていた方が43.5%となりました。また、「知っており利用した」方は、行政による連携事業が11.0%（昨年度5.5%）、民間による協賛事業は9.9%（同3.3%）となり、まだ十分ではないものの、ともに昨年よりも利用率は倍増しました。

Q. あなたは「県や市町村」が「あいちウィーク」の期間中に施設の割引や無料開放等、各種サービスを実施していたこと／「民間事業者」が「あいちウィーク」の期間中にお得なサービスや特典を実施していたことを知っていましたか。



(サンプル数)

休みの過ごし方

休暇利用者の外出が増加傾向　とくに「県民の日学校ホリデー」利用者の積極的な外出が増加

「県民の日学校ホリデー」に、子どもに合わせて休みを取った方の休暇の過ごし方としては、居住市町村以外の場所や施設にまで足を延ばした方が、52.0%（昨年度30.7%）と大きく増えるとともに、「自宅で過ごした」方は41.1%（同56.0%）と、昨年より減りました。

Q. 「あいちウィーク」中に取った休みの日(通常の休みを含む)／「県民の日学校ホリデー」は、どのように過ごされましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

(複数回答可)

(サンプル数)		「あいちウィーク」に関連したイベント等に参加した	住んでいる市町村内の場所や施設に出かけた	愛知県内の場所や施設に出かけた	県外の場所や施設に出かけた	自宅で過ごした
あいちウィーク ※1 (加えて取った休み)	(190)	25.8%	25.3%	27.4%	13.2%	38.9%
あいちウィーク ※2 (通常の休み)	(151)	21.9%	31.1%	28.5%	19.9%	26.3%
県民の日学校ホリデー ※3	(231)	18.2%	24.7%	31.2%	20.8%	41.1%

※1：「あいちウィーク」期間中に追加で休みを取った方が対象
※2：「あいちウィーク」期間中に通常の休みを取った方が対象
※3：「県民の日学校ホリデー」期間中に休暇等で過ごした方が対象

※1位：赤、2位：黄、3位：青

休みを取らなかった理由

「自身の都合で休みを取りたい」「休むと給料が減るから」が上位

「あいちウィーク」で休暇等を取らなかった理由は、「自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった」(30.3%)で最も高い数値を示しました。次いで「休むと給料が減るため、休みが取れなかった」(17.8%)「シフト制等になっていて、休みが取れなかった」(16.1%)の順でした。また、「県民の日学校ホリデー」で休暇等を取らなかった理由は、「休むと給料が減るため、休みが取れなかった」(18.2%)がトップで、「自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった」(17.1%)と「勤務先が普段から休みを取りづらい」(17.1%)が同率で続く結果となりました。

Q. あなたが、「あいちウィーク」中に、通常の休みに加えて、休みを取らなかった理由／「県民の日学校ホリデー」に合わせて休みを取らなかった理由を、次の中からすべてお選びください。

上位のみ掲載 (サンプル数)	あいちウィーク (353) ※ 1	県民の日学校ホリデー (170) ※ 2
自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった	30.3%	17.1%
休むと給料が減るため、休みが取れなかった	17.8%	18.2%
シフト制等になっていて、休みが取れなかった	16.1%	14.1%
年次有給休暇等の付与日数が限られており、「あいちウィーク」という特定の日に休みを取得したくなかった	14.7%	10.6%
自分の代わりに勤務する人がいないため、休みが取れなかった	12.7%	14.7%
勤務先が普段から休みを取りづらい	12.7%	17.1%

※ 1 位：赤、2 位：黄、3 位：青

※ 1：「あいちウィーク」を知っていて、仕事を持ち、期間中に「通常の休みに加えて休みを取らなかった」方が対象
※ 2：「県民の日学校ホリデー」を知っていて、ホリデー対象の子供を持ち、仕事を持っている方の中で、子に合わせて休みを取らなかった方が対象

親が休みを取らなかった子の過ごし方

「祖父母や親戚と一緒に」「体験的な活動」が上位 高学年は「一人で過ごす」

「県民の日学校ホリデー」に休みを取らなかった方の子どものうち、「祖父母や親戚などと一緒に過ごした」が「小学校」「中学生」で高く、次いで「体験的な活動を行なった」と答えた方が多い傾向にありました。なお、「中学生」「高校生・高専生」では、「子どもひとりで、自宅で過ごした」が高い数値を示しています。

Q. あなたのお子様は、「県民の日学校ホリデー」をどのように過ごしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

(サンプル数)	小学校 1～3 年 (84)	小学校 4～5 年 (71)	中学生 (77)	高校生・高専生 (82)
祖父母や親戚などと一緒に過ごした	17.9%	21.1%	13.0%	9.8%
体験的な活動（旅行・キャンプなど）を行った	14.3%	12.7%	11.7%	9.8%
放課後子ども教室や学童などで過ごした	10.7%	5.6%	3.9%	3.7%
「県民の日学校ホリデー」にちなんだイベントに参加した	8.3%	5.6%	2.6%	3.7%
子どもだけ（兄弟姉妹）で過ごした	7.1%	9.9%	10.4%	6.1%
子どもがひとりで、自宅で過ごした	4.8%	7.0%	13.0%	20.7%
わからない	25.0%	25.4%	22.1%	19.5%

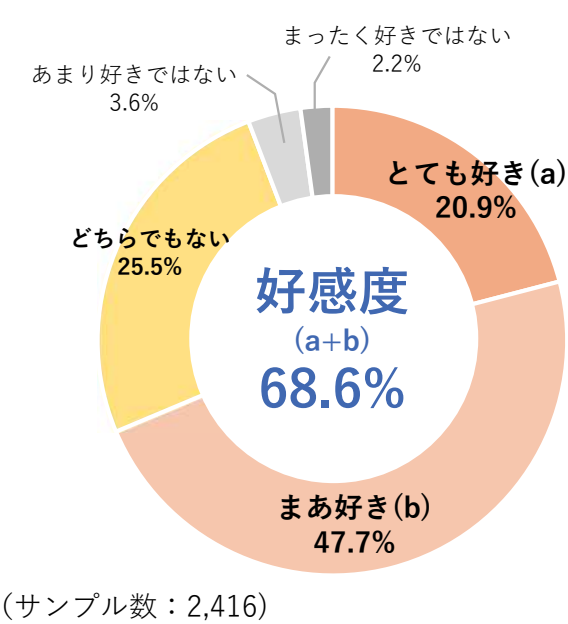
※ 1 位：赤、2 位：黄、3 位：青

愛知県に対する好感度

年代が高いほど好感度は高いが 若い年代の方が「とても好き」度は高い

愛知県に対する好感度は、「とても好き」（20.9%）「まあ好き」（47.7%）、と合わせて68.6%となりました。特に高い年代で好感度が高く、「60代以上」で75.7%「70代以上」で75.4%と高い傾向にありました。ただし「とても好き」について見てみると「10代」「20代」の数値が高い傾向にあります。

Q. あなたは、「愛知県」が好きですか。



【年代別好感度】

（サンプル数）		とても好き (a)	まあ好き (b)	好感度 (a+b)
10代	(103)	33.0%	41.7%	74.7%
20代	(439)	24.1%	42.8%	66.9%
30代	(530)	19.6%	47.4%	67.0%
40代	(548)	21.2%	46.5%	67.7%
50代	(554)	18.1%	50.4%	68.5%
60代	(161)	18.6%	57.1%	75.7%
70代以上	(81)	19.8%	55.6%	75.4%

※ 1位：赤、2位：黄、3位：青

愛知県の魅力

「住みやすさ」「自動車などのモノづくり産業」に魅力を感じている

愛知県の魅力は「住みやすさ」（45.0%）が最も高く、次いで「自動車などのモノづくり産業」（43.8%）、「なごやめしなどの独自の食文化」（37.5%）、「武将などの歴史や史跡」（28.2%）となりました。

Q. あなたが「愛知県」の魅力と思う点を、次の中からすべてお選びください。

（複数回答）

1位	住みやすさ(交通網・気候など)	45.0%	9位	まつり・伝統芸能・イベント	11.3%
2位	自動車などのモノづくり産業	43.8%	10位	県民性	10.7%
3位	なごやめしなどな独自の食文化	37.5%	11位	スポーツ	8.4%
4位	武将などの歴史や史跡	28.2%	12位	農林水産物	7.6%
5位	名古屋市中心部の都市魅力	18.9%	13位	芸術・文化	5.5%
6位	豊かな自然（山・海・川・島）	16.8%	14位	スタートアップ支援	4.6%
7位	陶磁器などの伝統工芸	14.9%		その他	1.4%
8位	テーマパーク・遊園地	11.6%		魅力を感じない	11.5%

（サンプル数：2,416）